



常務取締役 小柳 勉

お客様の役に立つシステムを技術・総合力を生かして提供

3月の東日本大震災によって被災された方々に心からお見舞い申し上げます。何とか一日も早く立ち直っていただきたいと願っております。

自然の猛威の前には、我々の生活に必須のライフラインや物流がいかに脆いものであるかを改めて思い知らされました。2008年以来の不況からようやく脱しようとしていた矢先の今回の地震と津波による大震災は、直接被災された方々はもとより、離れた場所に住む方々の暮らしにも大きな影響を与えています。関係者のご尽力にもかかわらず電力不足に陥り、重病で生きるために電気を必要とする患者の皆様などへの負担が増えています。お年寄りや乳幼児などを支える仕組みを知恵を出し合って再構築することが急務です。健康を維持、増進すると共に、日本を元気にするさまざまな活動を増やしたいものです。東芝情報システムは我々の技術を生かしてそのような活動をご支援してまいります。

今回はS Iソリューションを特集します。いずれもお客様の課題について、当社の最新のソリューションを基に、お客様と当社の共同作業で課題解決のための分析を行い、新しい手法を適用するなどして実現しています。

一例として、高齢者の要介護認定を支援するシステム「ALWAYS-J」は、煩雑化する審査会業務に対するきめ細かなフォローとペーパーレス化を実現しています。次に「保健指導システム」は、2008年4月から始まった特定健診・特定保健指導に完全対応したシステムで、初回面接を効率的に行い、煩雑な継続支援の管理をシンプルに行うことができます。

企業向けに、従来の情報システムのバックアップ方式が持つさまざまな課題を一挙に解決する「VITA Owl (ビー

タ アウル)」は、当社の長年のバックアップに関するノウハウを駆使し、簡単なヒアリングを行うだけでお客様に最適なバックアップ環境を提供できる次世代のバックアップソリューションです。

2005年から欧州EU圏内の上場企業に適用されている国際財務報告基準「IFRS (イファース)」を日本でも採用する機運が高まっています。業務の運用ルールにも変更が生じるため、当社はセミナーの実施はもとより、これまでのERPの実績とノウハウをIFRS適用に活かしてまいります。

「ORACLE Tuxedo ART」は、日本オラクル(株)がこのたび提供を開始したレガシーマイグレーションのリホスト用フレームワークです。これまでのマイグレーションと比べて期間やコストを削減するだけでなく、高性能や拡張性も確保しているのが特徴です。

これからはさまざまなコンテンツを駆使することが業務活動の効率を高めます。コンテンツ管理ソリューション「CMS (HeartCore)」により、幅広い分野のWebサイトの構築が可能であり、Word等のOffice感覚でWebコンテンツを編集することが出来、編集に要するコストと時間を削減できます。

なお、エンベデッドソリューションについても、モデルベース手法「M-RADSHIPS (エムラッドシップス)」、次世代SDメモ리카ード規格「SDXC」、新世代のスクリプト言語「軽量Ruby」への取り組みを紹介します。

当社は今まで培ってきたノウハウを基に、お客様が必要とされるシステムを、使いやすいソリューションとして提供いたします。今後ともお客様の期待と信頼に応えられるパートナーを目指して取り組んでまいります。